記者発表資料

地域を“みず”から守る
～みんなではじめる「流域治水」～

令和４年９月１６日
山形河川国道事務所
山形地方気象台
山形県
美しい山形・最上川フォーラム

日本一の芋煮会フェスティバル会場にて「かわとぴあ 2022in 山形」を開催
水防災について”学ぶ”、”体験する”！

○ 「かわとぴあ」は、地域住民に河川事業、ダム事業の役割や災害防止・河川愛護の意識醸成を目的に開催しております。今年度は 3 年ぶりに開催される「日本一の芋煮会フェスティバル」に合わせて同時開催します。
○ 会場には羽越豪雨や令和２年７月豪雨、令和４年８月３日からの大雨等における被害状況・災害復旧状況や流域治水の取組等についてお知らせするとともに、この歴史的な大災害を忘れることなく、近年激甚化や頻発する水害への備えを改めて考えるきっかけとなるよう「水防災」をはじめとした防災に関するパネル展を実施します。
○ また、大雨体験(時間 200mm の大雨を体験)、防災長靴を用いた水中歩行の疑似体験、竜巻実験の他、写真コンテスト入賞作品や排水ポンプ車等を展示します。

１．開催日時　令和４年９月１８日（日）９：００～１６：００
２．開催場所　馬見ヶ崎川（双月橋上流 右岸）
※日本一の芋煮会フェスティバル会場内（大鍋ブース対岸）（別添）
３．実施内容
（１）パネル展　：令和４年８月３日からの大雨、令和２年７月豪雨から２年、昭和４２年羽越水害に関するパネル、防災に関するパネル
（２）体験　：大雨体験（時間雨量 200mm の大雨を体験）、防災長靴を用いた水中歩行の疑似体験、他
（３）実験　：土石流模型実験、竜巻実験
（４）展示　：排水ポンプ車、河川パトロールカー、遠隔式除草機械、写真コンテスト入賞作品、他

４．参加機関　山形河川国道事務所、山形地方気象台、山形県、美しい山形・最上川フォーラム

＜発表記者会：山形県政記者クラブ、米沢記者クラブ＞

＜問い合わせ先＞

（かわとぴあ全体について）
国土交通省　東北地方整備局　山形河川国道事務所
山形市成沢西四丁目３－５（℡　023-688-8933）
調査第一課長　菅間（すがま）　栄治（えいじ）（内線 351）

（以下、各関係機関ブースについて）
国土交通省　気象庁　山形地方気象台
調査官　藤原（ふじわら）　昭三（しょうぞう）　（℡　023-622-0632）
山形県　県土整備部　河川課
副主幹　本間（ほんま）　拓也（たくや）　（℡　023-630-2615）
美しい山形・最上川フォーラム
事務局　佐藤（さとう）　浩美（ひろみ）　（℡　023-666-3737）

※国土交通省東北地方整備局山形河川国道事務所は、「日本一の芋煮会フェスティバル」を共催しています。

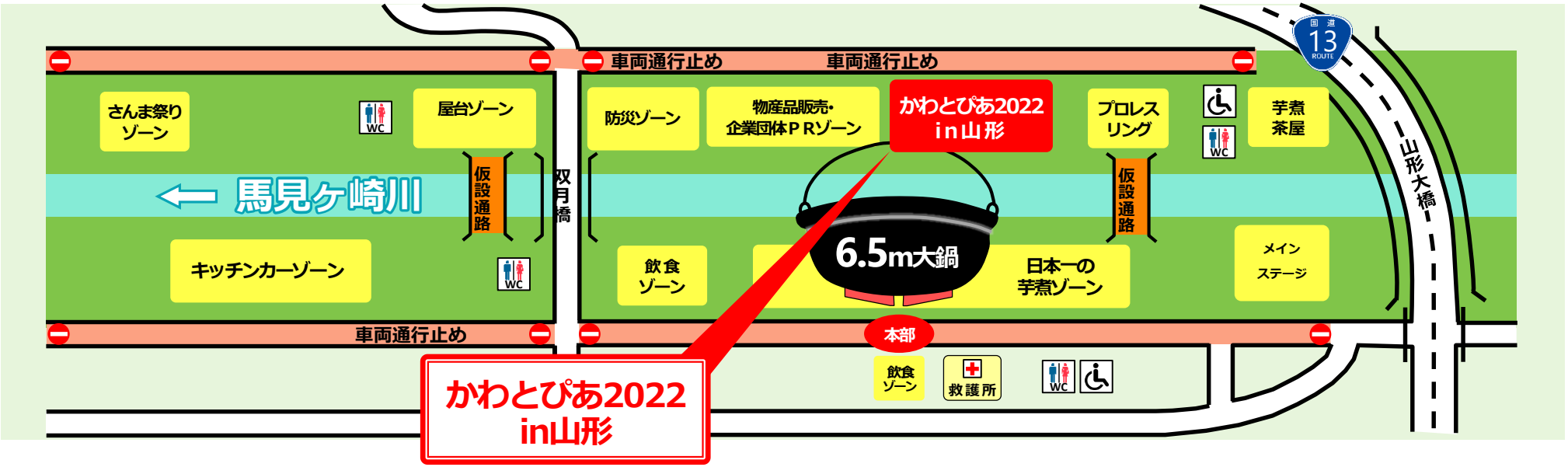
かわとぴあ2022in山形　会場までの案内図

『かわとぴあ2022in山形』は
『日本一の芋煮会フェスティバル』
の6.5m大鍋の対岸で開催します。
大鍋側からかわとぴあ会場側へは
仮設通路を渡ってお越し下さい。

会場近くには駐車場がございません。
お車でお越しの場合は、日本一芋煮会フェスティバル特設駐車場をご利用下さい。
詳しくは、「日本一の芋煮会フェスティバル」のサイトでご確認下さい。
(https://imoni-fes.jp/)

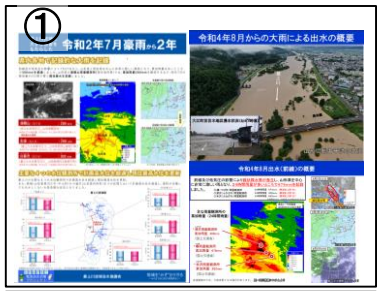


出典：地理院地図に会場位置等を追記して掲載



かわとぴあ2022in山形　会場案内図





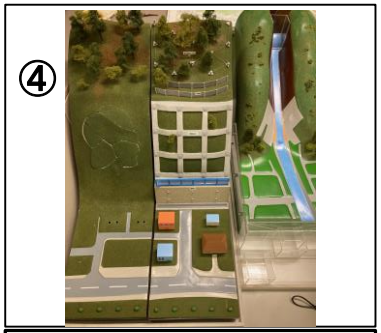
令和2年7月豪雨、令和4年8月に発生した災害に関するパネルコーナー



雨の強さに関するクイズゲーム



排水ポンプ車等の展示
（25mプールの水を10分で排出）



砂防堰堤の果たす役割を模型を使って再現



時間雨量200mmの大雨を体験



防災長靴を用いた水中歩行の疑似体験
室内での実施例



竜巻実験や防災に関するパネル等展示



河川や砂防に関するパネル等の展示



写真コンテスト入賞作品、川や海のゴミの見本、パネル等展示